



平成27年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年10月29日  
東

上場会社名 GMO TECH株式会社 上場取引所  
コード番号 6026 URL <https://gmotech.jp/>  
代表者（役職名） 代表取締役社長CEO（氏名） 鈴木 明人  
問合せ先責任者（役職名） 取締役CFO（氏名） 染谷 康弘 (TEL) 03(5489)6370  
四半期報告書提出予定日 平成27年11月9日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第3四半期の業績（平成27年1月1日～平成27年9月30日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	2,571	16.9	275	34.5	274	35.2	170	38.0
26年12月期第3四半期	2,199	—	204	—	202	—	123	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第3四半期	155.34	153.91
26年12月期第3四半期	123.83	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第3四半期	1,416	964	68.1
26年12月期	1,415	851	60.1

(参考) 自己資本 27年12月期第3四半期 964百万円 26年12月期 851百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	0.00	0.00	0.00	52.00	52.00
27年12月期	0.00	0.00	0.00		
27年12月期(予想)				62.00	62.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の業績予想（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,300	8.9	340	20.7	340	30.2	204	29.4	185.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年12月期3Q	1,100,000株	26年12月期	1,100,000株
-----------	------------	---------	------------

② 期末自己株式数

27年12月期3Q	一株	26年12月期	一株
-----------	----	---------	----

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

27年12月期3Q	1,100,000株	26年12月期3Q	1,000,000株
-----------	------------	-----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。当社は、平成27年10月29日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済・金融政策を背景に為替相場の円安基調から株価の上昇が進み、企業業績が改善し、設備投資が増加するなど、景況全般に関し緩やかな回復傾向が見られました。

一方、海外におきましては、中国の人民元切り下げに端を発する金融市場の混乱を受け、景気の先行きは不透明な状況下で推移いたしました。

当社の事業領域であるインターネット分野におきましては、主にスマートフォンの普及によりインターネットの利用シーンは増加し、例えば実店舗における購買時の検索、クーポン利用など、インターネットと実店舗がシームレスに繋がる機会が増えるなど、インターネット広告の市場規模は堅調に拡大しております。

また、020(※1)やオムニチャネル(※2)といった動きに加え、ウェアラブルデバイス(※3)などのデバイスの進化やIoT(※4)などの潮流により、今後もインターネット及びインターネットにおける集客の重要性は、益々高まるものと考えております。

※1 020とは、Online to Offline(オンライン・トゥー・オフライン)の略で、オンライン(インターネット)とオフライン(実店舗)の購買活動が連携し合う、またはオンラインの活動を実店舗などでの購買を促進する効果に結び付ける施策を指します。

※2 オムニチャネルとは実店舗やオンラインストアをはじめとするあらゆる販売チャネルを統合する施策を指します。

※3 ウェアラブルデバイスとは、腕や頭部など、身体に装着して利用することが想定された端末(デバイス)を指します。

※4 IoTとは、Internet of Things(インターネット・オブ・シングス)の略で、コンピュータなどの情報・通信機器だけでなく、世の中に存在する様々なモノに通信機能を持たせ、インターネットに接続したり相互に通信する技術や仕組みを指します。

このような事業環境のもと、当第3四半期累計期間においては、当社の強みである技術力を生かした自社商材の販売拡大を図るとともに、将来へ向けての先行投資を積極的に進めてまいりました。

以上により、当第3四半期累計期間における業績は、売上高2,571,046千円(前年同期比16.9%増)、営業利益275,347千円(前年同期比34.5%増)、経常利益274,238千円(前年同期比35.2%増)、四半期純利益は170,873千円(前年同期比38.0%増)となりました。

セグメント別の営業概況は以下のとおりであります。

スマートフォンアフィリエイトASP事業は、アクティブユーザーの獲得に有効な広告ネットワークである「GMO SmaADアドネットワーク」が好調に推移する一方、市場環境の変化を受けて「GMO SmaADリワード」の伸びが鈍化したことにより、売上・利益ともに微増となりました。

この結果、スマートフォンアフィリエイトASP事業の経営成績につきましては、売上高は1,760,745千円(前年同期比10.4%増)、営業利益は195,685千円(前年同期比46.6%増)となりました。

PC・モバイル集客支援事業は、Facebookのユーザー向け広告であるFacebook広告などのソーシャル広告及び集客メディアの運営などが堅調に推移いたしました。

この結果、PC・モバイル集客支援事業の経営成績につきましては、売上高は768,236千円(前年同期比27.8%増)、営業利益は191,588千円(前年同期比43.1%増)となりました。

スマートフォンアプリCMS ASP事業は、直販、代理店など多様な流通チャネルを通じて販路拡大を進めるとともに、将来の事業展開を見据えた機能強化を図りました。

この結果、スマートフォンアプリCMS ASP事業の経営成績につきましては、売上高は42,064千円(前年同期比1090.4%増)、営業損失は111,926千円(前年同期は62,685千円の営業損失)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期累計期間末における総資産の残高は、前事業年度末に比べ991千円増加し、1,416,679千円となりました。主な変動要因は、売掛金が160,513千円減少（前年同期比31.3%減）したこと、現金及び預金が75,293千円減少（前年同期比9.1%減）したこと、関係会社預け金が200,000千円増加したことによるものであります。

## (負債)

当第3四半期累計期間末における負債の残高は、前事業年度末に比べ112,682千円減少し、451,716千円となりました。主な変動要因は、買掛金が100,368千円減少（前年同期比33.2%減）したこと、未払法人税等が28,007千円減少（前年同期比36.5%減）したことによるものであります。

## (純資産)

当第3四半期累計期間末における純資産の残高は、前事業年度末に比べ113,673千円増加し、964,962千円となりました。主な変動要因は、四半期純利益170,873千円を計上したこと、配当金として57,200千円の支払いを行ったことによるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年12月期の業績予想につきましては、平成27年2月5日付の「平成26年12月期 決算短信」で公表しました通期の業績予想から変更ありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	830,474	755,180
売掛金	512,165	351,652
関係会社預け金	—	200,000
その他	41,881	41,956
貸倒引当金	△8,455	△5,090
流動資産合計	1,376,066	1,343,698
固定資産		
有形固定資産	4,246	4,448
無形固定資産	9,577	12,276
投資その他の資産		
投資有価証券	—	30,934
その他	25,798	25,321
投資その他の資産合計	25,798	56,255
固定資産合計	39,622	72,980
資産合計	1,415,688	1,416,679
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	302,035	201,666
未払金	116,053	114,192
未払法人税等	76,790	48,783
その他	68,761	86,304
流動負債合計	563,641	450,948
固定負債		
資産除去債務	758	768
固定負債合計	758	768
負債合計	564,399	451,716
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	276,800	276,800
資本剰余金	266,800	266,800
利益剰余金	307,688	421,362
株主資本合計	851,288	964,962
純資産合計	851,288	964,962
負債純資産合計	1,415,688	1,416,679

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
売上高	2,199,224	2,571,046
売上原価	1,639,463	1,813,732
売上総利益	559,760	757,313
販売費及び一般管理費	355,090	481,965
営業利益	204,670	275,347
営業外収益		
受取利息	29	141
為替差益	151	—
その他	—	71
営業外収益合計	181	212
営業外費用		
株式公開費用	2,000	—
為替差損	—	1,322
営業外費用合計	2,000	1,322
経常利益	202,851	274,238
税引前四半期純利益	202,851	274,238
法人税、住民税及び事業税	74,876	94,791
法人税等調整額	4,149	8,573
法人税等合計	79,025	103,364
四半期純利益	123,825	170,873

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	スマートフォン アフィリエイト ASP事業	PC・モバイル 集客支援事業	スマートフォン アプリCMS ASP事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	1,594,661	601,028	3,533	2,199,224
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,594,661	601,028	3,533	2,199,224
セグメント利益 又は損失(△)	133,497	133,858	△62,685	204,670

(注) 1. セグメント利益 (又は損失 (△)) の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. セグメント利益 (又は損失 (△)) には適当な配分基準によって、各報告セグメントに配分された  
全社費用を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	スマートフォン アフィリエイト ASP事業	PC・モバイル 集客支援事業	スマートフォン アプリCMS ASP事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	1,760,745	768,236	42,064	2,571,046
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,760,745	768,236	42,064	2,571,046
セグメント利益 又は損失(△)	195,685	191,588	△111,926	275,347

(注) 1. セグメント利益 (又は損失 (△)) の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. セグメント利益 (又は損失 (△)) には適当な配分基準によって、各報告セグメントに配分された  
全社費用を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。